

様式第6号(第2条関係)

委員会等の会議録

1	会議名	愛南町御荘地域審議会	
2	議題	(1)新町建設計画について (2)その他	
3	開催日時	令和5年2月13日(月) 14時00分から15時25分まで	
4	開催場所	御荘文化センター 2階 大研修室	
5	傍聴者数	0人	
出席者			
6	委員氏名	河野 仁、松本 明子、田原 朱美、坂尾 良美、坪崎 正行、 砂田 陽子、増田 智彦、稲住 好秋 ※2名欠席(佐々木 智秀、藤田 一郎)	
7	担当所属	所属名	企画財政課
		担当職員 (職・氏名)	課長 清水 雅人 課長補佐 山口 秀一 課長補佐 尾崎 光弘
8	その他の 出席職員	所属名	御荘支所
		出席職員 (職・氏名)	支所長 宮本 良也 課長補佐 上田 健司 課長補佐 和家 祐二
議事内容(次ページから)			

発言者	発言内容
清水町長	(開会挨拶)
山口課長補佐	出席者の紹介
山口課長補佐	<p>早速、議事に移ります。</p> <p>1番の会長及び副会長の選出についてですが、規則の規定に基づき、この会を代表する会長、そして、会長を補佐する副会長を選出したいと思いますが、事務局から推薦をさせていただいてもよろしいでしょうか。</p>
委員一同	(了承)
山口課長補佐	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、事務局から推薦させていただきます。</p> <p>会長に坪崎委員、副会長に坂尾委員をそれぞれ推薦いたします。皆さん御了承いただけますでしょうか。</p>
委員一同	(拍手にて了承)
山口課長補佐	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、ここからの議事進行は、規則第4条の規定により、坪崎会長をお願いいたします。</p>
坪崎会長	<p>それでは、次第に沿って審議を行いたいと思います。</p> <p>議事の2、愛南町新町建設計画の進捗状況について、事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>また、本件の質問等につきましては、全ての説明終了後に受けますのでお願いいたします。</p>
山口課長補佐	(資料1「新町建設計画の進捗状況」について説明)
坪崎会長	<p>ただいま、事務局より説明がありましたが、何か御意見、御質問等はございませんか。</p> <p>なければ、続いて議事の3、その他を議題といたします。</p> <p>事務局より説明をお願いいたします。</p>
山口課長補佐	(資料2について説明)
坪崎会長	<p>ただいま、事務局の説明がありましたが、御意見・御質問等はございませんか。</p>
松本委員	<p>今説明されたように、すぐに対応していただいたおかげで、私は鉄砲ですが、借りて行って自宅に置いていたんですが、そのときには出てきませんでした。これはいけないと思って普通のピストルを買ってきて、それで1回だけ追っ払ったんですが、</p>

発言者	発言内容
	<p>それ以降はいまだに出ておりませんので安心しております。でも、先日和口に行きましたら5匹出ておりました。まだまだこれからも策を練っておかないといけないと感じております。</p> <p>それから不法投棄の件ですが、これもおかげさまで池の近くは今、全然捨てていません。ただ、カーブミラーのある四差路のところに小さい小屋がありますが、今年の台風のときに小屋が壊れまして、トタンや何かが道路に飛んで、これはどうかしないといけないと思い、区長さんをお願いしたら、区長さんからそのお家の方に言っていただきまして、その方がはしごを使って自分が直そうとしていました。しかし、これではちががあかないと思って、また区長さんをお願いしてどうにか策を練ってもらいたいなと思っております。</p>
清水町長	カーブミラーがあるところは、馬場地区なんですか。
松本委員	馬場地区です。
木原副町長	御荘支所は、確認してますか。
和家課長補佐	連絡がなかったので確認できていません。
宮本支所長	<p>猿の関係ですが、早速今週15日に追い払い講習会を行う予定です。基本的には、対象地区を設定していますが、希望者には来ていただいてもかまわないことにしています。</p>
松本委員	私も去年参加しました。
坪崎会長	そのほかありませんか。
田原委員	<p>去年になります、避難場所に防災倉庫がないということで早速設置していただきました。栄町の自主防災会の住民が夜暗くなってから防災倉庫まで歩いてみようっていうのを実施しまして、実際に大雪の中を歩いて行ったんですが、本当に防災倉庫があつて、中身はまだない状態だったんですが、そのうち中にはきちんと資材を置いてもらえるということで、早速対応していただいてありがとうございました。</p> <p>でも、行くまでの道のりが真っ暗で、懐中電灯がないと何も見えない状態だったので、これはもし避難するときにはちょっと大変だなと感じました。何か明かりがあるとか、防災倉庫までの標識みたいなものでもあればいいかなっていう気はしました。</p>
木原副町長	<p>早速利用していただいてありがとうございます。</p> <p>実はですね、防災灯ということで、本当は令和4年度の当初予算に防犯灯とか電気がいるものじゃなくて、ソーラーライト</p>

発言者	発言内容
	<p>でつくようなLED照明を先般、ようやく百数十基購入をしたので、引き続き令和5年度もそれが有効活用できるのであれば、常時、購入を増やして各自主防災組織であったり、各行政区からの要望に応じていこうとしていますので、それをうまく利用していただいて、電柱はちょっと許可が得られないので、自前の何かフェンスみたいなものとか、そういうところにつけてもらおうと電気も必要ありませんので、ぜひ積極的に栄町の自主防災組織もよろしくお願いします。</p>
増田委員	<p>今のソーラーの件ですが、四国電力の電柱に建てるのは許可がおりないと言っていましたが、電柱が一番いいところがあるんですよね。だから、できれば電柱に建てられるようにしてもらったら助かるんですけどどうでしょうか。</p>
木原副町長	<p>再度、防災対策課を通じて、四電とNTTのほうにはそういう要望があるということを申入れしてもらいます。</p>
坪崎会長	<p>それでは、次の議題に移りたいと思います。引き続き事務局より説明がありますのでお願いします。</p>
山口課長補佐	<p>(資料3について説明)</p>
坪崎会長	<p>今、説明がございましたが、皆さん何か御意見・御質問はありませんか。</p>
坪崎会長	<p>空き家バンクの登録制度ですが、実際に人が住んでない家はたくさんあります。ただ荷物が入っていたり、都会の方から将来戻って来る可能性があるということで、おじいちゃんおばあちゃんが亡くなっても、荷物をそのまま置いて、もう5年も10年もしたら家がぼろぼろになるということもあります。それまでに何かいい方法がないかなと考えた訳ですが、そういう手助けするグループとか、団体とかを作って、家の所有者と相談して片付けて、空き家バンクに登録する方法がないんだろうかなと思って私は考えたんですが、個人の財産なのでなかなか難しいのが実際だと思います。そして、将来戻ってきてもらったら本当にいいんですが、都会のほうで家を建てたら実際には戻ってこない人がほとんどだと思います。そして、家とか土地を売買などで処分しようと思っても、昔の高いときの値段しか考えてないんでなかなか処分できません。今は本当に底値だと思います。</p> <p>私は、土木事務所で用地の関係で家の立ち退きとか、土地の取得の仕事をしたことがありまして、西海のほうでしたが、私らは1万円かそのくらいと思って、もうここはどうしようもないと思うけど、都会の人にしたら、あそこは別荘地で別荘が建つ土地なんで、20万や30万って言われるんですよ。だから、な</p>

発言者	発言内容
清水課長	<p>なかなか価値の感覚が違うんで難しいとは思いました。</p> <p>今言われたこと、民間を活用するという、NPO法人とかはすごい有効的なことなんですけど、全国の自治体でも同じような問題があつて、宅建業者さんとかがそのようなことをしている団体もあるというのは聞きますが、愛南町でもそういうことをしたいというNPO法人さんが出たらもうそれこそなんですけど、実際そのような団体が出ないというのが実情です。</p> <p>実際にお手伝いができる人が集まって、そこをやってくれるというのであれば、それは非常にありがたいんですけど、今のところはそのような団体の声も聞いておりません。</p> <p>それと、空き家バンクの登録というのもされてない家もたくさんあるということなんですけど、実は来年度辺りから、この業務にも地域おこし協力隊を募集したいと思っています。地域おこし協力隊がもし来てくれるのであれば、空き家バンクの掘り起こしなどをしてと思っています。それは、各地区を回ることになると思いますが、またその際はよろしくお願いします。</p>
坪崎会長	<p>ほかにございませんか。</p>
坂尾副会長	<p>地域おこし協力隊の件ですが、この前、町の協力隊の方がジビエカレーを作って、いろいろ活動していただいているのを見て、本当に良く頑張っていたらいいなと思いましたが、資料の実績の数値を見ると、定住者っていうのが全体で2名ということなんですけど、協力隊の方々のいろんなアイデアや活動で、地域が活性化するっていうのは確かにあると思うんですけど、その方々が定住ということになるとなかなか難しいっていうようなところがこれを見るとあるのかなと思いますけど、どういうところで定住に至っていないのかっていうところが1点と、もう一つは、地域おこし協力隊と地域の方々とのトラブルで、結構いろいろなことで辞めていっているっていうようなネットニュースとかも見るので、そういう地域の協力があつてのことではあるんでしょうけど、実際にこの愛南町でやっている方々に関して、そういう課題みたいなものはあるのかどうか、ちょっとそこを教えていただけたらと思います。</p>
清水課長	<p>まず、定住に繋がっていない実績ということで、9ページの表だと思いますけど、実はこの表の見方が、地域おこし協力隊員っていうのは3年間勤務するんですけど、例えば1番目の企画財政課のところ、平成29年から31年までに「1」が3つ並んでいますけど、これ実は1人なんですよ。3人ではなくてその1人の方が定住しましたというのが表の見方でありまして、例えば令和4年度の7人という数字の中には、まだ3年目を迎えていない方もいるので、単純にこの数字の中で、たった2人しか定住をしてないという見方ではなくて、実はまだ結果が出て</p>

発言者	発言内容
	<p>ないというのが正式な回答となります。</p> <p>二つ目の地域でのトラブルの件ですが、報道などがされていますが、やはりその方は人生をかけて3年間来ていただくんですけど、その方の想像しているものと実際に違うというギャップが生じるのは確かにあると思います。そこは私ども行政がしっかり寄り添う形ってというのが必要なんじゃないかと思います。愛南町の地域おこし協力隊の中では、具体的にそのようなトラブルというのは聞いてはないですが、そこは各担当課がしっかりフォローするという形が必要だと思います。</p> <p>これからも、各担当課に新しい地域おこし協力隊員が来るんですけども、今年度も何人か募集しますが、やっぱりその3年間をしっかりとフォローして、次の定住に向けて繋がっていくような何かアイデアの相談とか、そういったことをすべきかなというふうに感じています。</p>
坪崎会長	<p>学校教育課の3人というのは、大体どのような仕事ですか。</p>
清水課長	<p>これは、昨年12月からの南校の魅力化推進で、斗夢センターという公営塾を始めたんですけど、そこに講師としておられますが、来年度からは、さらに2名増える予定です。</p>
坪崎会長	<p>ほかにありませんか。</p> <p>それではないようでしたら、次にその他の御意見、またこういうようなことを聞きたい等ございましたらお願いします。</p>
松本委員	<p>まずひとつが、御荘保育所の東側に道路があって、その下に水路があるんですけど、下水から流れている水の関係かどうかわかりませんが、気温が高いときには物すごく悪臭がするんです。歩いている人でないと、匂いは分からないと思いますが、私たちは散歩で歩いているとすごく悪臭がするので、区長さんへ町に調べてもらってくださいと言いました。一度ぜひ、これを調べてほしいと思います。</p>
宮本支所長	<p>こちらで現場を確認させてもらって、担当課へ対応を相談します。</p>
松本委員	<p>それからもうひとつは、以前、町長さんがすぐに対応してくださったところで、新池っていう池が馬場にあります。そのガードレール近くの草をきれいに刈っていただいて、今は問題ないんですけど、その池のほうに出ている木が大木になっていまして、ハゼも大きくなってますので、歩いていてちょっと雨が降ったときなんかには、かぶれるんじゃないかと心配するようになってきました。これをどこが管理しているかわからないんですけど、あの木を早く処分していただけたらと思ってお</p>

発言者	発言内容
宮本支所長	<p>ります。</p> <p>それから3件目、我が家のすぐ上に、4年前に亡くなった先生の家がありまして、息子さんがおりましたけど、相続人は誰か分からないのですが、私は1度も会ったことがありませんし、連絡のしようがないんですけど、そこの蔓が家に巻きついて、我が家の敷地の方にまで入ってきて、去年は4回も剪定の人にも来てもらって剪定をしました。今は枯れているから問題ありませんけど、こういった時、相続人も分からなければ連絡のしようがないし、どこに相談したらいいだろうかと悩んでいます。どうでしょうか。</p> <p>こちらで現場を確認させてもらって、関係各課と対応を考えさせていただきます。</p>
坪崎会長	<p>今、片の浜で防潮堤を県が工事をしていると思いますが、あれはまだ相当期間かかりますね。</p>
清水町長	<p>予定では、20年間っていうことで聞いています。</p>
坪崎会長	<p>そしたら、できるまでに津波が来たときに、栄町辺りが浸水するのは間違いないんですが、宿毛市は、2か所で避難タワーを作ったと思いますが、愛南町はどう考えているか教えていただけたらと思います。</p>
木原副町長	<p>今、愛媛県が事業主体で、御荘湾沿岸の約4kmにわたって防潮堤の設置工事をしていただいております。県の見解は、津波も100年に1度のL1と言われる、御荘湾で高さ5mの津波、それと1,000年に1度と言われる、御荘湾で9mの高さの津波が来る2種類のパターンがありますが、とにかく5mのL1津波に耐えうる防潮堤を作りたいということで、高さが4.7mの防潮堤を設置してもらおうということで、先ほど町長が言ったように、20年かけて約100億円の工事費を投じています。事業費レベルなのかどうか分かりませんが、今20%ぐらい完成をしたと聞いています。でも、言われるように100%完成しないと、効果は得られないというような状況になっております。</p> <p>実際には、防潮堤ができれば30cmの津波が乗り越えると仮定して、30分の避難時間を延ばすことができると、だからゼロに抑えることはできないんですけど、30分の時間を稼ぐことができるので、その間に安全な高台に逃げてくださいますというのが、県の考え方で動いていただいております。</p> <p>今、坪崎会長がおっしゃられた津波避難タワーについては、去年の8月だったと思いますが、栄町の自主防災会のほうから、ぜひ僧都川と蓮乗寺川の両岸に囲われた津波の浸水地域でもあるので、もし橋が全て倒壊したとしたら、自然由来の高台にも逃げられないので何とか津波避難施設、タワーに限らず避難ビ</p>

発言者	発言内容
	<p>ルでもいいから施設が欲しいという要望をいただきました。議会からも時折、津波避難タワーの設置についての質問をいただいております。</p> <p>町としては、実は栄町には町有地がほとんどないんです。御荘中学校か道の駅みしょうMICがあるところぐらいしか、なかなか町有地がない状況なので、現時点ですぐどこかに建てたいて言ってもなかなか建てられないのが現状なので、今はいろいろな複合施設でできないだろうかと思案中です。</p> <p>本当は、もし避難タワーがあっても、時間があれば皆さんは逃げるよりやっぱり自然由来の馬瀬側の高台であったり、平城側の高台のほうに間違いなく逃げるとは思うし、自分もそうするつもりではおるんですけど、万が一、馬瀬方面の人とか逃げ遅れた方が、緊急避難的にそういった施設があれば、絶対使えるので、ないよりはあるにこしたことはないと思っているんですけど、今のところは青い国ホテルと御荘中学校が、津波避難ビルに指定させていただいているので、まずはそこに逃げてもらおうというようなことで考えております。</p>
坪崎会長	土地を買収して建てるという考えは今のところないんですか。
木原副町長	そこまでには至ってないです。
坪崎会長	将来的には、それもあるかもしれないということでしょうか。
木原副町長	いろいろな御意見を聞きながら、どうしてもということであれば、もうそれしか手が無いという状況なら無いとは言えないと思います。
増田委員	<p>その件について、去年の6月だったでしょうか、県が主体で黒潮町の課長を呼んでオンラインで会議をしました。それで、会議が終わった後に、私が避難タワーのことで一つ質問をしたんです。高知県は、確かに避難タワーに舵を切って、宿毛市も黒潮町も避難タワーを建てていますが、愛媛県は建っていません。避難タワーが必要かと言われると必要かもしれませんが、強度や高さが無いというのをテレビでも見ました。確かに私が見ても避難タワーは時間がないときに逃げるのはいいんですけど、そこに逃げてまだ想定外の波が来た時に、そこで精神的に耐えられるかという心配があります。だから、副町長が言われるように高い山だったら逃げられます。だから、避難タワーも必要かもしれないですけど、さっき言ったように30分の時間があったら、なるべくなら山の避難道に逃げるような体制でもっていったほうが、個人的な意見かもしれませんが、私はこの前の防災のワークショップでも出しましたが、やっぱり、私もそれよりかは避難道から避難したほうが、安心じゃないですか</p>

発言者	発言内容
坪崎会長	<p>との意見がありましたので、それは確かに必要ではあると思うんですけど、その辺を考えながらやっていくのも必要じゃないかと思います。</p> <p>皆さんが何で逃げるかですよ。よそで見たときは、車が1台割れ目に入ったら一切動かなくなったということらしいんで、実際、皆さんが歩いて逃げてくれればそれも可能だと思うんですけど、車でお年寄りとか体の不自由な方を連れて、一部寝たきりの人もいるかもしれませんけど、そういう人を連れて高台まで逃げられるかが心配です。</p>
増田委員	避難できるようにしないといけないんですよ。
坪崎会長	それは、また検討していただくということでお願いします。
木原副町長	<p>御荘湾に来襲してくる津波は、高さが9mで到達時間までに46分という結果が一応出ているんで、46分の間にプラス、今防潮堤を設置していただいているんで、その完成度合いにもよりますが、そこでまた30分遅らせることができるとなると、仮に橋がなかったら国道を城辺方面に動けば十分高さは確保できるし、先ほど増田委員がおっしゃっていただいたように、そこにとどまることの不安ということもあるので、いろいろな考え方はあるでしょうけど、ここは十分に考えながら動いていかないといけないなというのが今のところの結論です。</p>
坪崎会長	もう一つ、高速道路の工事で、柏のトンネルの所が止まっているようなことを聞いたんですが、今の進捗状況を教えていただけたらと思います。
木原副町長	<p>ようやく工事は再開したということは、国交省の方からお聞きをしておりますし、プレスリリースもしたということでありまして。有価物を封じ込める工法で残土を利用していくということで、それでよそでもずっと工事をしているんで、そういう工法に切り替えてトンネルの掘削工事を再開したというように確認をしています。</p>
増田委員	<p>先ほど言いましたように、以前防災の会議をしたときに私から提案したことがあります。津波に限らず災害が起きた場合には、空でヘリコプターを利用しないといけないような時代になってきております。</p> <p>ただ、ヘリが降りるところがないと何にもならないので、愛南町にはまだ、常設のヘリポートがありません。だから、あるのは南レクのグラウンドとかを代替えで緊急離着陸場という名前で使っているんで、これはまた所有者に許可を取らないといけないし、時間もかかりますが、それよりも常設のヘリポート</p>

発言者	発言内容
	<p>を設置したらどうかという話もあるんですけど、山を切り開いて作ったら莫大な費用がかかるので、そういうのは、有効的な町有地があれば1番いいんですが、どうにかできないだろうかという話をいろんな人から聞いたこともありまして、その辺、考えていただけたらと思いますけどどうでしょうか。</p>
清水課長	<p>ヘリポートの件は、今、防災対策課のほうもいろいろと検討しているところなので、この件については、また担当課に投げかけさせていただきたいと思います。</p>
河野委員	<p>前回の審議会の意見に対する回答をいただきましてありがとうございます。また、平素から農林業に御理解と御支援をいただきましてありがとうございます。</p> <p>私、柑橘経営で生計を立てておりますが、昨今、経費の高騰で、農業経営がかなり圧迫されております。さらには担い手不足、労働力不足で厳しい環境が続いておりますが、そのような中で、インフラ整備等に対して御理解をいただきまして非常に感謝しております。現在、御荘平山地区で、水利施設等保全高度化事業を進めていただいております。これは農道の整備、またパイプラインの増設、水源の確保等なんですが、農道、パイプラインは、営農には欠かせません。次世代の担い手、経営者後継者のためにも、改めてこの事業の早期完成をよろしく願いいたします。</p>
木原副町長	<p>県の中山間事業を有効活用して、最初に自分がその計画を聞いたときに、多くの関係者の皆様の理解が得られるのか不安視していましたが、一体的に平山のほうの水不足の改善に繋がるということで、全て農業関係の施設が整備できて、早く完成したらいいなと思っています。ぜひまた御支援・御協力をお願いします。</p> <p>担い手不足ですが、実は今、東南アジアの方々、特にインドネシアの方々を広く呼び込んで、いろいろと人材不足の補填を漁協にしてもらっていますが、また独自にそのコーディネーター役、そういった専門知識を持っている方を雇用されて運営をされているという話を聞いて、農業版でそういうことができないかなという、やっぱりそこは漁業に専属で雇用しているので難しいという話を聞いて、商工観光課に就職支援センターがあるんで、そこの事業の一環で、農業版にも通ずるようなその他福祉関係も含めて、そういった外国人の雇用促進につながるような、コーディネーターをしてもらえる人をさっきの地域おこし協力隊で、全国的に知見のある人を呼び込もうと今、動いているんで、また、もしそういう方が来てくれたら、また一体となって御協力のほどよろしく願いします。</p>
河野委員	<p>先日、そのような関係で、県の職員さん、町の職員さんと農</p>

発言者	発言内容
坪崎会長	<p>業経営者が3人ほど出て、勉強会もあった訳ですが、八幡浜方式とか宇和島方式とかあって、その中でまた愛南でもいろいろやっていこうという話は協議をしておりますので、また今後ともよろしく願います。</p> <p>もう一つ、コロナの関係なんですが、愛南町では、実際に何人ぐらい出ているかなというのが、今は一切分からないですよ。宇和島圏域で何人というようなことで、だからできるだけ外に出ないようにしているんですが、みんなに聞いたら何人やるかねと、不安を持っているようです。</p> <p>そして、来月の18日からは、マスクも付けるか付けないかはもう自分で考えるというふうになるようなんですが、地元住民としては、やはり何人ぐらい出とるんかなという情報は欲しいような気はするんですが、それは難しいんですか。</p>
木原副町長	<p>実は、一時期までは、それこそ皆さん、公表された状況に一喜一憂してそれなりに感染防止対策を徹底しないといけないとか、そういう認識で動いていただいたと思いますが、もう今は結局、報告義務は65歳以上の方やその他の該当者のみということで、恐らく南予地方局自体も全数は掴んでいないんじゃないかなと思います。通常、昔はもう南予地方局から、愛南町では今日の感染者数が何人ですって、毎日私に報告がきてたんですけど、もう今は全く報告自体もないし、愛南町で現数を確認できる人は誰もいない状況だと思います。</p> <p>ですから、もう変な不安をあおって、誠に申し訳ないなと思いつつも、ぜひ教えてくれって言われても教えるすべがないというのが現状なので、そこは御理解いただきたいと思いつつ。</p>
坪崎会長	<p>分かりました。できないということであればそれはしかたないです。</p>
坪崎会長	<p>ほかに何かございませんか。</p>
砂田委員	<p>新町建設計画の「ふれあいのある福祉の充実」のところ、障害者支援センターの設置とか、働く作業所のところがなかなか進んでいないように思いつつ、私の娘も今年20歳になりました、車椅子の生活をしてはいますが、宇和特別支援学校までは、保障された教育を受けることができるんですが、卒業後の行き場がないというのが、町内には限られている支援が障害の程度であったり、バリアフリーになっていないとかっていう環境のこともあって、障害が重度であったり、車椅子の子に限っては宇和島方面に行っているというのが現状です。せめて町内に通える場所があれば、選択するしないは実際できてみないと分からないですけど、やっぱりサービスの質がいいっていうのも宇和島地域にはありますので、町内にいざできたからといって</p>

発言者	発言内容
木原副町長	<p>も、正直、質が悪ければ利用はできないんですが、そういった理想のものが町内にあればいいなと思います。なので、ぜひ進めてほしいと思います。</p> <p>時折、議会とかでそういう提案をいただいたりして、ないのかなと思いつつも、我々もなかなか実態が分かっていないし、例えば、長崎保育所に岡澤先生のところが「カサヨハネ」のそういった施設をつくられるっていうんで、どういうものができるのかなあと期待しながら、でもそこはやっぱりニーズが合わないとか、だからどういう提案をしていただくのが1番理想なのかなと思います、何かいい方法ってありますか。</p>
砂田委員	<p>今、保健福祉課の方とも私たちの保護者の会と1か月に1回ほどの意見交換会をしまして、その中ではある程度の希望ができ上がってはいるんですが、やっぱり福祉制度とかに決まりがあって、A型作業所やB型作業所っていうのは全く障害の程度が違っていたり、うちの子みたいに車椅子でできることが少ないとなるとAにもBにも入らないので、そうすると生活介護っていう別のサービスになってくるので、やはりそういった制度をうまく使って、多機能型というのが理想的なんですけど、A型もB型も生活介護も3つ揃っているというところが理想だと思います。</p> <p>でも、そこをどこがするかっていうところが、1番ネックになるんですけど、だからさっき言われていた空き家だったり、いっぱい空いている町の施設を使って、農業だったり水産業だったり、なんかできることがあると思うので、内職的なことだったり、ほかの方にNPOの立花で聞いた場合は、水産業の網をほどくというのを立花作業所さんがされていたり、また農業になると、どういうことができるか分からないんですけど、みかんを拭くとか、そういうことができるのであれば、町の借りた施設を使って、仕事を回してもらおうとかっていう、なんかそうやって町も一次産業の方々と連携したものが、絡めてできたら1番いいんじゃないかなっていうのを、今、保健福祉課の職員の方たちと話しているところです。</p>
木原副町長	<p>そういうニーズがどっかにあって、マッチングできたら何かいい方向に進むかもしれませんね。</p> <p>この間、新たに相談事業所を立ち上げた方と話をしたときに、新たな事業の掘り起こしも考えてみたいと言っていたので、ぜひそういう提案があったら、担当課等に投げかけてもらうなり、いろいろな施設が変わって、そういうスペースが出れば、またやってもらえる部分もあるかも分からないし、積極的にまた御意見ください。</p>
坪崎会長	<p>ほかにございませんでしょうか。</p>

発言者	発言内容
山口課長補佐	<p>それでは意見がないようですので、これで議事を終わりたいと思います。いろんな御意見をいただきまして、また提案をいただきましてありがとうございました。</p> <p>皆様の御協力のおかげで会長の席を終わることができました。ありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局にお返しします。</p> <p>本日は、委員の皆様には熱心に御審議をいただきましてありがとうございました。これをもちまして、御荘地域審議会を閉会いたします。ありがとうございました。</p>